



上山小学校「風のたより」

令和5年12月6日（水） 校長 有谷孝彦



学校経営目標：ふるさとを愛し、

自らの未来を切り拓く児童を育成する



いじめの構図（人権週間に寄せて）

私は小学校4年生の時に「いじめ」をしました。被害者は、皆となかなかコミュニケーションの取れない女の子でした。目つきが鋭く、他を寄せ付けない雰囲気をもった子でした。平和主義の私？は、最初は仲良くなろうと言葉かけをしました。昼休みの遊びを誘ったこともあったのですが、無視されているように感じていました。そのような状況に腹を立て



ていた私は、その子を避け、周りの友達にも「声かけても応じないから無駄だよ」と言って独りぼっちにさせてしまいました。私が首謀者です。このことが明るみに出て、私は担任の先生と母親にこっぴどく叱られました。相手の状況や立場を理解しようともせず、勝手に判断して孤立させるのは、間違いなく「いじめ」の典型的な構図です。その頃から私にも「道徳心」が芽生え、人権を意識できるようになりました。大人社会でも自己中心的な考えの方がおられます。私たちは子どもの鏡です。自分の立ち振る舞いをもう一度振り返ってみたいと思います。



あしたは はれる

坂田おさむ

悲しくて 泣きたくなった時

思い出してほし

ぼくらのことを

雲に乗り 飛んでゆくからね

ひとりぼっちじゃないよ

手をつなごうよ

好きだから 君が好きだから

友達さ いつもいつまでも

さあさ 夢じゃない

みどりの草原に

みんなが集まるよ

君と歌うよ



人権集会の発表から！

人権集会の5年児童の発表から紹介します。

皆さんは、障害のある方が知り合いや家族にいますか？私のお兄ちゃんには「自閉症スペクトラム症」という障害があります。

自閉症スペクトラム症のことを簡単に説明すると、言葉や表情、視線、身振りなどから相手の考えていることを読み取ったり、自分の考えを伝えたりすることが不得意である、特定のことに強い興味や関心を持っていたり、こだわり行動があるなどの特徴があります。

皆さんは、愛する人、大切な人に思いを言葉で伝えられますか？しゃべるなんて簡単だと思いますよね！でも自閉症スペクトラム症の人はそのようなことが難しいのです。愛する人に本当の気持ちを伝えられない、一生懸命身振り手振りで伝えようとしてもなかなか分かってもらえないこと、それがどんなにつらいかわかりますか？それがわかるのは自閉症スペクトラム症の人本人です。

お兄ちゃんはとてもやさしくて穏やかです。でも、笑いたくないのに笑ってしまったり体の動きのコントロールをうまくできなかつたりする時もあります。ある日、洗濯機の中からお兄ちゃんが間違っって入れたサツマイモが出てきたり、洗濯物と一緒に干していた干し柿を全部一緒に取り入れていたり、お兄ちゃんならではの面白い出来事もあります。

お兄ちゃんは、「PECS」というタブレットアプリを使って会話をしています。その「PECS」を使って、お兄ちゃんが最初に「ゆあ」と私の名前を言ってくれたことがありました。とてもうれしくて、その瞬間を忘れたことはありません。言葉が生まれたお兄ちゃんと今日からいっぱい会話できると思うと喜びで胸がいっぱいでした。そして今は、たくさんのお話を話しています。そしてお兄ちゃんと会話するたびにいろいろな思いがあったんだと気づきます。

あまり関係がないかもしれませんが、私の周りには、障害のある人、障害のあるいところ、はとこがいます。障害のある人とかわりのなかった友達が遊びに来たときは、最初はびっくりするけど、すぐにかかわろうとしてくれます。お兄ちゃんが何かできるたびにみんな喜んでくれます。このように、いろいろな人の協力で日々生活をおくることができています。

お兄ちゃんもたまには自分の思いが伝わらなかつたり、自分なんてと思ったりすることもあるでしょう。でも、自分に合った環境が少ないところで頑張り、会話手段がわからなくても、決してあきらめない、お兄ちゃんはすごいと思います。そんな一生懸命なお兄ちゃんが大好きです。これからもたくさんのお話を教えてほしいです。

☆上山小のHP「スミレだより」毎日更新しています。QRコードもご利用ください。